

カカオ・チョコレート週刊ニュース 158号

2018年3月19日発行

株式会社立花商店 東京支店

1、市況の動き：両市場とも上昇のペースは落ち着いたもののNYは12月以来38%上昇

		3月12日	3月13日	3月14日	3月15日	3月16日	先週最高値	先週最低値	先週比	週内価格差
ロンドン先物	5月限月	1791	1776	1794	1796	1796	1773	1708	+23	20
	7月限月	1796	1783	1800	1800	1803	1778	1720	+25	20
ニューヨーク先物	5月限月	2546	2532	2556	2536	2522	2493	2441	+63	34
	7月限月	2569	2555	2577	2557	2547	2518	2460	+59	30

(坂元)

2、カカオ豆先物相場についてのファンダメンタルズ分析(3/14)

- ❖アイボリーのメインクロップ豆の歩留率や品質に対して様子見をしており取引が消極的になった
- ❖3/13の終値は前日比で0.55%下落しUSD2,532/トン
- ❖ガーナは乾燥気候や病害により当初の予測よりも少ない収量となる見込みである。ココボードはカカオ豆買付けで農家に支払うための資金を借り入れしているが、現在はその借入全額にあたる13億ドルの返済を進めている
- ❖ガーナの2017/2018期の収量は目標の85万トンを下回り70万トンとなる見込み、雨不足のため
- ❖カカオ生産地帯にあたる西アフリカでは高温気候と乾燥気候が続く見込みで、ミッドクロップに向けて収量が減少するとの懸念があり、短期的に価格上昇の要因になりうる
- ❖アイボリーの主要生産地に連続的な降雨がありサイズや品質が改善するとの期待がある一方で、現状は小～中サイズのポッドが多くミッドクロップの収量に懸念がある
- ❖アイボリーのメイン港に着荷したカカオ豆の数量は昨年比で少ない状況
- ❖アイボリーの磨砕量は1月末までに16万8000トンとなっており昨年比で1.8%上昇した

(坂元)

3、カメルーン：2017年カカオ豆輸出量は16%減少

2017年にカメルーンが輸出したカカオ豆は22万1667トンとなり昨年の26万3746トンから16%の下落となった。

8月から翌年7月までが収穫のシーズンとなるが、収穫量としても14%下落し23万1642トンとなった。(坂元)

4、カカオ豆先物価格、2年ぶりの安値をつけた後急上昇

カカオ豆先物価格は2018年1月以降、急上昇を続けている。ICCOが公表したカカオ豆の欧州在庫数量が減少したことが一つの要因になっている。カカオ豆は世界全体で余剰があるとの情報が覆され、両市場とも急上昇している。カカオ豆価格を左右するもう一つの要因は世界最大の産地であるアイボリー、ガーナのクロップの品質がある。この2か国は政府によりカカオ豆価格が決められている。ある関係者は「2016年の中ごろから約2年、カカオ豆先物価格は下落してきた。この為、農家は従来よりも収入が減ってしまい次の生産に向けた肥料などの投資がやりにくい状況にあった。」と述べている。

それに加え、アイボリーでは30万ヘクタールがSwollen shootウイルスに侵されており、来年の収量は15万トン程減少する見込みである。これにより2017/2018期の世界全体のカカオ豆収穫量は2.3%減少するが、一方でカカオ豆に対する需要は伸びており磨砕量は2%上昇するとみられている。(坂元)

5、クラフトチョコレート市場のバイヤーがシエラレオネのココアに注目

ケネマ近郊のゴーラレインフォレスト国立公園に拠点を置く2つのカカオ生産者団体はこの頃ダンデライオンチョコレート(米)に向けて初のコンテナを出荷した。農家はその他のバイヤーに向けても輸出する準備を進めているようだ。最近アムステルダムで開催されたCHOCOA2018カンファレンスで、同国ツイントレーディング社ココアマーケティング

部門の Kristy Leissle 氏によると「シエラレオネはクラフトチョコレート市場では後発であり、高品質のココアとして認められてこなかったため、我々は今後も持続可能な取り組みになるようにしっかりと働きかけなければならない。年に1コンテナだけだと農家の生計も立てられない。今後は50コンテナを目指していく。」と語った。

シエラレオネのカカオ生産量 (ICCO)

2012/13 10,700MT

2016/17 18,000MT

2017/18 20,000MT (予測)

ツイントレーディング社

西アフリカ諸国の小規模農家を3年間の「Gola Rainforest Cocoa プロジェクト」の元で世界のクラフトチョコレート企業と結びつけるために働きかけている。

<http://www.twin.org.uk/>

立花商店のシエラレオネでの取り組み

<http://www.tachibana-grp.co.jp/cacao02.html>

(野呂)

《お問い合わせ先、配信希望または停止のご連絡先》

株式会社立花商店 東京支店 生田、坂元、鶴田、野呂

TEL 03-5785-3545 a-sakamoto@tachibana-grp.co.jp